



デイサービスゆずり葉

運営推進会議「資料」

運営報告 - デイサービスゆずり葉の運営状況について

2026年9月28日（月）地域公開

株式会社ゆずり葉 徳留



本日の内容

目次

地域の皆さまへ、半年間の
運営状況をご報告します。

01 今回のポイント

02 事業所紹介

03 私たちの目指すゴール

04 利用状況と半年間の変化

05 お客様の声・満足度

06 職員の状況と育成

07 事故・ヒヤリハットと改善

08 虐待防止・身体拘束廃止の取り組み

09 防災・感染対策

10 地域連携と前回意見への対応

11 次の半年の重点



1 今回のポイント

半年を振り返る

宮崎市では、地域密着型通所介護の運営推進会議をおおむね6か月に1回開催し、活動状況を地域へ報告するとともに、評価・要望・助言を受ける場としています。今回は、前回からの半年間で「何が変わったか」「何を改善したか」を中心にご報告します。利用状況、事故・ヒヤリハット、防災、地域連携を、数字と具体例で振り返ります。



宮崎の状況

- 県内全市町村が超高齢社会。
- 後期高齢者の増加で、医療と介護の両立ニーズが高まる。
- 人材不足の中でも、個別理解と家族支援ができる事業所が求められる。

認知症と在宅介護から見る介護ニーズ

3,624万人

65歳以上人口
(2026年9月推計)

約3.6人に1人

が認知症・MCI対象
(全国推計)

409人

宮崎市の100歳以上
長寿者(令和8年9月)

- 求められるのは「通う場」だけでなく「家で暮らし続ける支援」。
- 家族の不安は、見守り・転倒・排泄・服薬・昼夜逆転などに広がっています。
- 宮崎県では、令和8年度に介護職員が2,563人不足すると見込まれています。
- 在宅で介護する家族自身も65歳以上という「老老介護」の世帯が63.5%と過去最高を更新(2022年国民生活基礎調査・厚労省)。

2 事業所紹介



デイサービスゆずり葉

株式会社ゆずり葉



〒880-0124 宮崎市大字新名爪4452-1



0985-86-8212



yuzuriha-n@abeam.ocn.ne.jp



介護保険事業所番号：4570108151

ホームページ：<https://www.yuzuriha-n.jp>



種別

地域密着型通所介護

定員

18名（一日の最大利用人数）

営業日

月～土（祝日含む・日曜定休）

サービス提供時間

9：00～16：15

営業時間

8：30～17：30



3 私たちの目指すゴール

おもんぱかる心の種をまき、
世界に広げる。



私たちがここにいる理由（ミッション）

おもんぱかる心の種をまき、世界に広げる。

私たちは、ゆずり葉に関わるすべての人の声に耳と心を傾け、深く理解し、想いを巡らせます。この『種』を育み広げることで、誰もが尊重され、支え合える社会を実現します。



私たちが10年後に目指すもの（ビジョン）

地域コミュニティの創造

私たちは、安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、お互いの力を生かし、持続可能な未来を築きます。

4 利用状況（利用登録人数など）

デイサービスゆずり葉登録者数：31名（2026年9月時点、前回33名） 参考月：2026年8月

31名

登録者数

88歳

平均年齢

2.7

平均介護度

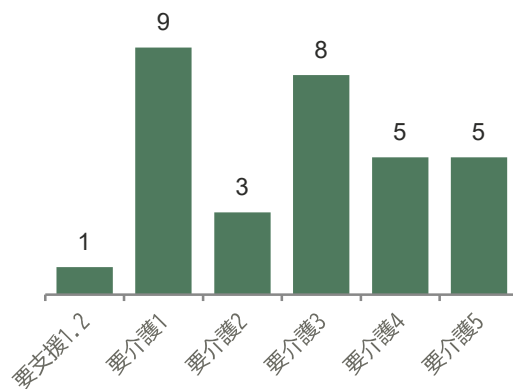
97%

認知症を有する方

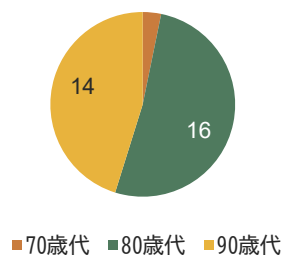
80%

平均利用率

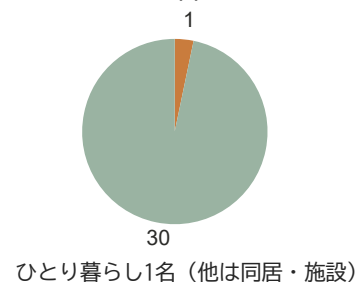
要介護度



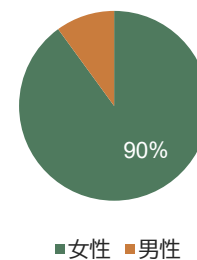
年齢層



ひとり暮らし



男女比



お住まい 施設 6割／自宅 4割

入居者18名／芳士2名／新名爪4名／花ヶ島2名／島之内2名
広原1名／他2名



5 お客様満足度

アンケート調査（令和8年9月） 5段階「①大満足 ②満足 ③ふつう ④やや不満 ⑤不満」 解答率「12/12」

4.6



①サービス全体の満足度（5段階中）

4.7



②スタッフの対応や雰囲気（5段階中）



③印象に残ったサービスや催し

- ジュース作りや顔パック、体を動かす活動も喜んでいきます。
- 花見やお出かけ、工作など。楽しみにしております。
- 季節ごとの催し物などありがたいです。本人も嬉しそう。
- 食事も美味しいです。
- レクリエーションは毎回楽しみにしています。



④サービスの希望やアイデア

- 活動の様子をLINEで送ってほしい。
- 絵画やコーラス教室も参加したい。
- 感染対策等で厳しいと思うが、家族との交流会や見学会等があるといい。
- 今後もLINEを使って連絡をしていきたい。

6 職員の状況と育成

ゆずり葉は長く働ける職場です

- ゆずり葉は昨年12月に10周年を迎えました。デイサービス職員10名のうち6名が5年以上、うち4名は7年以上勤続しており、長く働き続けてくれる職員に支えられています。
- 育成面では、年間研修計画に基づき、職員一人ひとりの知識・技術・心構えを高める取組を進めています。
- 今年度は2名が認知症ケア実践者研修に申し込み、受講時期の違いから1名はすでに修了、1名は来月から受講を始めます。
- 法人全体では、人材採用の課題もありますが、支援の質を保ちながら育成と定着の両立を図っていきます。
- 介護業界全体では人材不足が深刻化しており、有効求人倍率4.08倍・2040年度には全国で約57万人の不足が見込まれます（厚労省調査）。人材紹介や外国人材の受け入れには紹介手数料（1名平均89万円）や初期費用（1名50～150万円）など重いコスト負担を伴うため、当法人では現時点では利用実績がありません。

10名

デイサービス職員数
(法人全体29名)

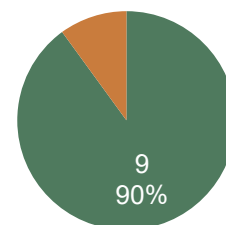
11年

最長勤続年数
(昨年12月に10周年)

47歳

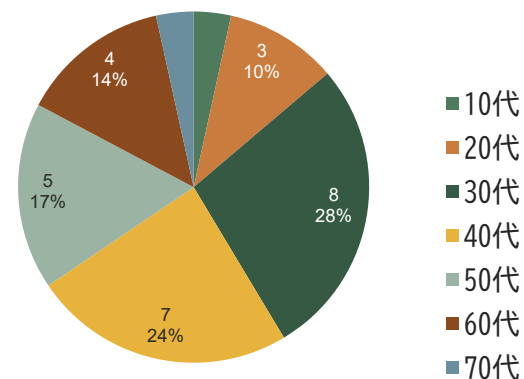
平均年齢
(法人全体平均44.4歳)

男女比（デイ職員）



■女性 9名 ■男性 1名

年齢構成（法人全体）



産休・育休

来月10月より2名が産前休業に入ります。これまで、デイサービスでは2名が育休を経験しています。職員が安心してライフイベントを迎えられる職場づくりに努めています。

7 事故防止の取り組み（事例紹介）



最も注意が必要な転倒・転落

多くの介護施設で一番多い事故が「転倒」です。介護施設によっては、転倒するという前提で、転んでも怪我が大きくならないように設備で工夫しているところもあります。



取り組み（情報共有の仕組み）

事故に至らないヒヤリとした体験の報告・共有は、日常業務に追われると後回しになりがちです。2年度にわたり工夫を重ね、多くの報告が上がる状態が定着してきました。今年度からは基幹ソフトへの情報登録により、統計を分析活用し、具体的な対策を検討できる段階に入りました。また要因分析に一部AIを活用する場面も増えています。

事例紹介

発生日時

令和8年6月30日（火）13：30頃

経緯

昼食後休憩で休まれていたが、トイレに起きられる。職員付添で杖歩行中にふらつかれ、尻もちをつく。外傷等なし。

対応

トイレ誘導時の確認で、外傷や痛みは見られず。ご家族や担当ケアマネへ報告。

要因

軽度認知症。杖歩行。寝起きという状況によるふらつきの可能性。（念のために付き添っていた職員も、とっさには支えきれなかった。）

再発防止策

起立・移動の際は必ず声をかけてから介助し、休息直後や起床直後に転倒リスクが高まる事を職員間で共有。杖の状態と歩行の安定性を再確認。次の支援に活かしています。

グレーゾーンから無くす、日々の気づき



向上委員会

虐待につながりかねない小さな言動や関わり方、いわゆる「グレーゾーン」に気づき、なくしていく活動に取り組んでいます。職員向けの啓発活動も定期的に行っています。



リスクマネジメント委員会

身体拘束に関しては「リスクマネジメント委員会」が管轄しています。拘束をしない支援のあり方について、あわせて啓発活動を行っています。

半年間の実績

0件

施設内での身体拘束

0件

施設内での虐待



気づきが安全につながった事例

日々の関わりの中で、ご家族間の課題に気づき、関係機関と連携して、ご利用者お一人の安全確保につなげた事例が1件ありました。小さな変化やサインを見逃さないことも、私たちの大切な役割だと考えています。



感染対策

- 今月は、コロナやインフルエンザではない風邪症状の方が数名みられ、日々の体調確認と早めの情報共有の大切さを改めて実感しました。
- 受け入れ時の体調確認、換気、手指衛生、必要時のマスク着用など、基本的な対策を継続しています。
- 毎年「火災訓練」「自然災害訓練」「感染対策訓練」の3種類の訓練を実施しています。



生活相談員 新穂

防災対策委員及び、感染対策委員として活動しています。皆さまが安心してご利用いただける、安全な環境づくりに努めています。



事業継続計画（BCP）



今月は宮崎北消防署による地震をテーマにした出前講座を実施し、地震体験車への搭乗など、職員が体を使って学ぶ機会を持ちました。

直近の課題は、線状降水帯や警戒レベルの基準に合わせた運営です。一律の基準だけでは判断が難しい場面に対し、より実情に合った目安づくりに取り組みます。

10 地域連携

強化していく地域連携

- ゆずり葉では、訪問介護や訪問看護、住宅型有料老人ホームを含めた事業展開により、必要な方に必要な支援が届くよう努めています。
- 今後も、ケアマネジャーや地域の皆様との関係を大切にし、認知症や家族負担などの困りごとに気づき、在宅生活を支える事業所を目指していきます。
- 直近の取り組みとして、住吉地区地域包括支援センターからのご依頼で、近隣小学校の介護体験学習にボランティアとして参加しました。



自治会

加入継続



ニュースレター

近隣地域7,500世帯に情報発信



SNS・HP

日々の様子や取り組みを発信



地域の困りごとに気づける連携

小さなデイサービスだからこそできる「気づき」を大切にしています。ケアマネジャー・地域包括支援センター・自治会・学校など、多様な立場の方々と日頃からつながることで、困りごとが深刻化する前に手を差し伸べられる関係づくりを進めています。

コロナ禍を経て、高齢者の外出や地域交流の機会は今も元の水準まで戻り切っていないという調査結果があります（外出が「減った」と答えた高齢者はコロナ禍前の約13.7%から約33.3%に増加／JAGES・地域サロン参加高齢者調査）。だからこそ、今後も地域交流の機会には積極的に協力していきます。



11 課題と今後の予定

小さく積み重ねる – 等身大で進めるデイサービス



認知症ケアの推進

継続

三年連続、今年度も2名が認知症介護実践者研修に申込。1名修了、1名来月受講開始。



利用者理解の見える化

継続

計画書の情報を絞り、同じ場所・順で確認しやすく整理。LINEで要点を共有。



科学的介護の推進

見送り

口腔機能向上加算、個別機能訓練加算IIは、実務負担が収益を上回るために見送り。科学的介護推進体制推進加算のみ維持。



家族支援と説明力の向上

課題

伝え方は次の課題として取り組みます。お客様アンケートでご意見もいただきました。



少人数でも支えられる運営

継続

AI活用・LINE共有で、情報共有、書類作成、リスク分析等の負担を軽減。



参加された皆様のご意見

ご感想やご意見、介護に関するお困りごとなど、ぜひお聞かせください。



利用者様代表（N様 / S様）

いつも楽しいですよ。

良い人たち。良くしてくれるわ。

ご家族代表（N様）

助かっています。これからもお身体に気をつけて支えてほしい。

自治会長兼民生委員（K様）

素晴らしい環境とスタッフが良い。資料もしっかりしてわかりやすい。このまま発展していったほしい。

住吉地区地域包括支援センター（O様）

他の所にもよく行きますが、今日来てみて、やっぱりゆずり葉はいいなと思った。



ご参加ありがとうございました。



お問い合わせ デイサービスゆずり葉

Tel : 0985-86-8212 Fax : 0985-86-8214

Email : yuzuriha-n@abeam.ocn.ne.jp

管理者 徳留

